

平成16年度第1回宇都宮市立視聴覚ライブラリー運営委員会 議事録

日時：平成16年8月3日（火）午前10時～11時

場所：宇都宮市立東図書館 2階 集会室

1 開会

2 あいさつ（宇都宮市立視聴覚ライブラリー所長）

3 議事

委員長：それでは、(1)報告事項のア 平成15年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業実績について、事務局より報告を願いたい。

《事務局より、資料に基づき報告》

委員長：ただいまの報告について、ご質問等ありますか。

（質問なし）

事務局：事務局から各委員にお伺いしたい。16ミリの利用について大幅な伸びがあったと報告したが、映写機の製造が終了しフィルムの供給が心配されるなか、本市における利用の増加は全国的にみても珍しい事例ではないかと思う。このことについていかがか。

小林委員：うつのみや映写ボランティアの会の熱心な会員が精力的に活動され、留守家庭児童会の利用が増えている。うつのみや映写ボランティアの会としてもサポートしていきたい。映写機についてはランプなど消耗品が必要だが、映写機の製造が終了してしまい部品の在庫がない状況のようだ。また、フィルムの供給が心配されるので、購入できるうちに確保していただければと思う。16ミリはアナログだが、デジタルと共存共栄できると思う。部屋を暗くしてみんなと一緒に画面を見つめるのが映画のよいところで、その結果子どもたちの生活態度にもよい変化が見られるとの報告もある。市民の皆さんには、多くのフィルムをさらに活用していただきたい。

委員長：他にありませんか。

堀江委員：16ミリ関係の予算はどうか。

事務局：予算は限られているが確保している。今年度も映写機1台を購入できた。ランプなども購入し維持に努めており、市民の要望に応えられる体制を整えている。先程、デジタルとの共存の発言があったが、フィルム供給の問題がありデジタルへの対応も並行して必要ではないかと考えている。

原委員：本校にも留守家庭児童会があり、子ども達は映画会を楽しみにしている。テレビやビデオとは違う雰囲気味わえるということで、とても喜んでいる。学校では授業日数の確保の関係で、最近では全校生徒で一緒に見るのが難しくなっている。子ども達は楽しみにしているので、是非見せたいと思っている。こころの教育の一環ということで、是非続けられるようお願いしたい。

委員長：視聴覚ライブラリーにある16ミリの機材については、とてもよく整備されていると思う。他ライブラリーが機能しなくなっても、本市視聴覚ライブラリーではそれ以上に長く維持できると思う。

原委員：教員などで16ミリの資格を持っていても、サポートをボランティアにお願いできるのか。

小林委員：ボランティアの会員は職業を持っている方もいれば退職している方もいるので、日時が合

えば可能です。

石川委員：各学校に16ミリ映写機は置かれているのか。

原委員：置かれているが、ランプが切れていたり保守管理がなされていなかったり、修理しないと使えない状況にある。実際使われていない。

石川委員：そうであるならば、それを集めて部品の供給源としてはどうか。供給がないということであれば、使われていないものを有効利用してもいいのでは。

事務局：すでに部品が手に入らず、各学校では修理できない状況にあるかと思う。ご意見を参考にしながら検討したいと思う。

委員長：他にありませんか。それでは、次に報告事項のイ 平成16年度視聴覚ライブラリー運営目標、ウ 平成16年度視聴覚ライブラリー事業計画、平成16年度視聴覚ライブラリー予算について、事務局より報告願いたい。

《事務局より、資料に基づき報告》

委員長：ただいまの報告について、ご質問等ありますか。

金子委員：映画会ですが毎年かなりの人数が来ている。これは何回も来ているのか、それとも絶対数がどれぐらいなのか把握していますか。一度見て何回も来ているのかどうか、見ている方が広がっているのかということなのですが。

事務局：何回も来るリピーターといわれる方はいると思う。その反面、映画会開催の度に場所の問い合わせが相当数あり、新たに映画会に来る方もおられるようだ。アンケート等をとっていないので内訳はわからないが、繰り返し来る方、初めて来る方それぞれ毎年数多くおられると認識している。

委員長：他に、ご質問などありますか。

事務局：小中学校の校長先生にお伺いしたい。先程、事務局報告のなかで、学校教育における16ミリフィルムの利用がかなり減っていると報告したが、実際の学校のなかでの視聴覚教育の状況、機材などの使われ方などについて、学校関係の立場から参考意見を伺えないか。

原委員：子ども達に見せて教育するということになる、ほとんどビデオになっている。それから、パソコンで映像を見せるということもある。現在、16ミリフィルムはほとんど使われていない。

坂口委員：今は情報メディアとして、インターネットで資料を検索したり、ビデオを使ったりで、使用頻度からいけばインターネットが一番多いかと思う。あとはOHPを時々使用するぐらいで、16ミリを見ることはほとんどありません。

原委員：子ども達は発表もパソコンを使用している。

手塚委員：むしろDVDを使いたいという先生方もいるのだが、残念ながらDVD用機材が購入できないということが問題になっているところです。

坂口委員：ビデオの機械は、全教室に設置されている。

手塚委員：先程、原委員からあったが、時間的なゆとりがなかなか取れないので、生徒が一同に集まってという時間を短縮するため、放送室から一斉にビデオで流してしまうということがあります。

石川委員：パソコン活用研修ですが、学校関係者が対象か。

事務局：これは教育センターとの役割分担の関係があり、対象は幼稚園教諭、保育園保育士及びそこ

に勤める教職員ということになる。

石川委員：学校の先生が対象であれば、パワーポイントでビデオプロジェクターとパソコンが組み合わされて、教室で簡単に提示できるので、そういう講座を計画すれば学校の先生は興味があるのではないかと思います。各教室にビデオプロジェクターとまではっていないようだが、各フロアに最低1台という計画があるやに聴いているので、そういうことであればそのような需要が出てくるのではないかと思います。

坂口委員：パワーポイントを使いたいという先生はおられるので、そういう講習会があれば希望者はいると思う。研究会などで発表される方はパワーポイントを使っているのだから、これからはそういう機会が若い先生はさらに増えるのかなという気はします。

事務局：パワーポイントの講習についてですが、学校向けの講習はすべて教育センターが行いますので、ただ今のご意見については教育センターに要望として伝えたいと思う。

委員長：他にありますか。

事務局：前回会議であったご提案についてご報告したい。前回、石川委員からライブラリーのホームページ上で、教材のビデオクリップを公開してはどうかとのご提案がありました。その後、さっそく作業を進め、平成9年度以降の自主制作の教材について30秒程度のビデオクリップを掲載している。インターネットによって自主制作の教材の雰囲気を見てもらうことができるようになりました。全作品を載せたいが、サーバーの容量の関係で平成9年度以降のものとなっている。

委員長：他に、意見、提案等あれば出していただきたい。

(質問なし)

委員長：他になければ、続いて(2)その他について事務局より何かありますか。

事務局：次回の運営委員会開催日程の予定について、来年2月に第2回目を予定したい。委員長と相談し、改めて皆様に通知を差し上げたい。

4 閉 会

委員長：他にないようなので、これをもって全ての審議を終了し、閉会とします。皆様のご協力感謝します。

出席委員：金子耀誉委員，原敏子委員，坂口智章委員，手塚二郎委員，堀江淳一委員，
風間あき子委員，小林充佳委員，石川賢委員

欠席委員：荒川浩委員，四宮茂樹委員

事務局：高野視聴覚ライブラリー所長，川上視聴覚ライブラリー副所長ほか職員2名